

あなたの手を、世界の誰かに。



2015年4月20日

セカンドハンド通信 No.80

公益社団法人 セカンドハンド 本部事務局 TEL&FAX 087-861-9928
〒760-0055 香川県高松市観光通1-1-18
E-mail:jimukyoku2hand@yahoo.co.jp <http://2nd-hand.main.jp/>



構想：新チャリティーショップ ～コミュニティ協働の結節点として～

セカンドハンドのチャリティーショップは、これまで国際協力の玄関口として20年間市民の皆様を支えられてきました。現状の課題として、セカンドハンドの倉庫が全て2階以上にあり、商品提供の受付が可能な大きなスペースがありません。そこで今、新たに大きな倉庫を併設し、行政や企業と連携して地域の課題に取り組むショップを構想中です。



災害時の支援拠点になる！

東日本大震災から4年。セカンドハンドでは物資の輸送やコミュニティショップ事業など経験やネットワークを活かして被災地への支援を行ってきました。緊急支援の活動には、救援物資を集め、仕分けを行い、ニーズに合わせて発送できる「場所」が重要。過去、幸いにも広大な倉庫を無償で借りることができたので、支援ができました。今後起こりうる災害に備え、収集・作業ができる空間を備えた倉庫兼チャリティーショップが理想と考えています。



行政や企業と連携！

行政と連携してリユースを促進しゴミの削減、そこから得た収益で行政ではできない課題解決に取り組んだり、協働で地域に還元する方法はいくらでもあります。社会的弱者の方が働ける場や失業者対策など、社会事業という視点でも可能性は無限です。その活動に企業が得意分野で貢献したり、緊急時に即座に連携できる地域のプラットフォームのひとつとして関係が構築できたら、全国版モデル事業にもなりそう…



限りない可能性を試す場！

そもそもチャリティーショップは地域の中でモノを活かし、ひとに支えられながら社会に貢献していくお店です。「品物の販売」のみならず、たとえば地域の方の語り場、学校の体験学習の場、生涯学習や研修のフィールド、また地域の農産品を活用してカフェスペースを…と展開していくことが可能です。



セカンドハンドは昨年20周年を迎え、これから目指すものとして「平和で、一人ひとりが生きていることを喜び合える社会」を掲げ、新しいチャリティーショップ実現にチャレンジするための構想と資金繰りをはじめめる段階です。皆様のご意見やアイデアをお待ちしています！

通信発送についてお知らせとご協力のお願い

20年間、ご寄付・商品提供をしてくださり、住所登録いただいた皆様にこの通信を無料で年4回発送してきました。今後はこの無料発送を年2回（4月・10月）とさせていただきます。ただし、年間1,000円以上のご寄付を頂いている方、商品提供者、SOS会員には年4回無料で発送させていただきます。

セカンドハンド通信は支援者の皆様へ支援成果の報告をさせていただくのに加え、学べる通信を目指して制作しております。制作・郵送費カンパとして応援してください！

※次号は重要なお知らせがある為、全ての方へ発送する予定です。



「セカンドハンド」は、ボランティアが主体となって運営する国際協力団体です。主な支援先はカンボジアで、学校建設や奨学金支援などのほか、自立・医療・孤児院支援を行っています。資金源は皆様のご寄付とチャリティーショップ（提供された品物を無報酬のボランティアスタッフが販売）。一人ひとりの力は小さくても集めれば大きな力となる」をモットーに活動しています。世界の誰かのために、あなたの力を貸してください。

商品提供やご寄付など、支援してくださった皆様へのお礼とご報告は、このニュースレターにかえさせていただきます。

カンボジア・スヴァイリエン州で 救急の研修を実施

2014年から実施しているJICA草の根技術協力事業（高松市と協働）で、3回目の専門家派遣を行い、NPO法人TICOの渡部医師、高松市消防局の濱崎氏と飯田氏を今年3月に派遣しました。今回は、事前に貨物輸送した医療資機材の使い方、救急の初期対応（観察）、救急救命室（ER）の医師には救急処置の基礎と応用について指導。また、カンボジア人医師の指導能力の養成にもつながるよう、2014年8月に来日研修を受けた医師が講師として教える立場に立ったり、参加者が学んだ内容を研修最終日に他者に説明するプレゼンを試みました。これは、指導力を養成するだけでなく理解度を確かめる結果にもなり、日本の専門家からの補足説明でさらに正しい理解へと導くことができました。参加者からも「資機材もない、研修の機会もないから知識もない、ないことだらけのスヴァイリエンに資機材と知識を届けてくれてありがとう」と喜ばれました。

今回初カンボジア出張となった高松市消防局の飯田さんは、「カンボジアの救急医療は日本と大きな差があり基本的なこともできていないと聞いてお

り、本当に水準を高めていけるのだろうか」と疑問に思っていたのが出発前の率直な気持ちでした。しかし実際に現地で指導に当たってみると、患者の症状や事故概要から処置内容を考えたり、容態の変化への対処など、適切に理解できていました。去年も指導された方が『別人のように成長している』と話したとおり、少しでも多く習得しようという姿勢、彼らのやる気には目を見張るものがありました。そのやる気をサポートするのが我々の仕事だと感じました。これからの課題は、医療機関での対応だと思います。機器が揃っていない医療機関では決定的な検査が行えないし、十分な処置が行えるかどうかわかりません。救急搬送し、検査し、適切に処置に当たれる、その状況までまだ遠いかもしれませんが、一つずつこなしていかなければなりません」と報告してくれました。

次は2015年5月5日から19日まで、カンボジアの医師4名が高松を中心に香川県内と徳島で研修を受ける予定です。



救急処置の基礎と応用の指導を行う渡部医師



三角巾の使い方を指導中の濱崎氏と飯田氏

●カンボジア医師による研修終了報告会

日時：5月17日（日）15:00～16:30

会場：高松市生涯学習センター「まなびCAN」大研修室

同会場で13:30～14:30総会開催。入場自由・無料。

●カンボジア医師の歓送会

日時：5月17日（日）17:30～19:30

会場：ぴかどり屋（高松市福田町9-5）

会費：2,500円

太鼓で国際交流！をサポートしました

讃岐国分寺太鼓保存会のカンボジア演奏旅行（3月4日～9日）の企画・調整をお手伝いしました。日本大使館の主催によるイベント「絆フェスティバル」のオープニングセレモニーで、副首相や各国大使をはじめ約600名の列席者を魅了！バタンバンでも、ホームランド孤児院の太鼓、サーカス団との共演を川沿いの公園で披露し、市民に喜ばれました。

奨学金支援

卒業生にインタビューしました！

テリーさん、准医師として頑張っています！
セカンドハンド・ユースの奨学金支援を受け2009年卒業



Keo Sokuntheary／テリーさん（27歳）

卒業当時、医師になりたいと語っていた彼女（セカンドハンド通信55号参照）。見事にその夢を叶え、現在は准医師*として働いています！思いやり溢れる彼女にぴったりの仕事です。大学で助産師の資格も取得したそうです。今の気持ちを聞くと、「生まれ変わった自分に出会えた気分」と力強く答えた声がとても印象的でした。最後に、「自分と同じように勉強をしたくてもできない子どもたちがまだたくさんいる。その子どもたちをぜひ支えてほしい」と話してくれました。

※医師より限定されるものの医師と同様の仕事をする

新年度 スカラーペアレント大募集中！

みんなの夢を応援しよう ～学びのチャンス～

紹介したテリーさんのように、「勉強して夢を叶えたい」「将来、社会に貢献したい」という思いを持っていても貧しくて学校に通えない生徒がたくさんいます。遠い日本からでも、彼らの夢を支えられるのが、スカラーペアレント制度です。スラムに住む、貧困が理由で学校に通うことが難しい、中学生から高校生の里親となってください。月々5,000円で夢を応援していただけます。

今号では支援を待つ4名の生徒をご紹介します。1名の生徒につき、里親1名（グループでも可）のマッチングとなるため先着順となります。この4名以外にも候補者がいますので、ぜひ事務局までお問い合わせください。



右がスレイリンさん

Sei Sreylin

スレイリンさん
中学3年生 15歳
将来の夢：マーケティング
マネージャー

8人家族。自宅で商店を営んでいるが売れ行きはあまりよくなく、子どもたちが数円のお菓子を購入していく程度。家事全般は一番末っ子の彼女の仕事であり、一日の食事の準備、洗濯、掃除などをしながら学校へ通っている。



Keo Kimlin

キムリンさん
中学3年生 15歳
将来の夢：銀行員

父親がトックトックの運転手だが、全く収入がない日がある。英語を学びたいという理由もあり、学校が終わるとNGO事務所でアシスタント業務をボランティアで行い、夕方からはそこで開かれる英語教室に参加し、日々勉強を頑張っている。



Tak Phallin

パリンさん
中学3年生 15歳
将来の夢：IT関係の仕事

両親と兄弟の6人家族。キムリンさんと同様に父親がトックトックの運転手で収入が不安定。下の弟は金銭的な問題から中学校を1年生で中退。今は自宅前でおやつを売って生計を助けている。自宅は外壁がトタンなので日中はとても暑く、勉強をするのにも苦労している。



真ん中、右がスレイレアさん

Ouk Sreyleak

スレイレアさん
中学3年生 17歳
将来の夢：医者

親戚を含めた16人家族。稼ぎ頭である両親や上の兄弟たちは、農業か清掃員として働いていて収入がとても低い。70歳の祖父もゴミから売れる物を探して生計を助けている。自転車もないため、学校へは徒歩で通う。貧しい人や困っている人を助けたいという気持ちから、将来医師になるため勉強を続けたいと思っている。

フェアトレード ～お買い物で世界を変える！？～

●フェアトレードって知っていますか？

開発途上国で生産された製品を適正な価格で取引し、持続的な生活向上を支えることを目的とする貿易を言います。

●フェアトレードはなぜ始まった？

開発途上国の生産者たちは、自分たちの最低限の生活をしていく為に、より安い労働力として子どもたちを働かせます。学校に通えない子どもたちは、休みの日がほとんどない過酷な労働をしているだけでなく、農薬等による健康被害にも悩まされます。

教育の機会を奪われた子ども達は読み書きができない為、自分の技能を磨くことが難しく、将来生活をしていくのに十分な報酬が得られる仕事に就くチャンスを得ることができません。また、けがや病気の予防法や治療法に対する正確な知識も得られないため、健康でいる

こと自体が難しいという非常に厳しい状況に置かれます。

フェアトレードは、このような弱い立場にある生産者たちが貧困の悪循環から抜け出すための運動として始まりました。

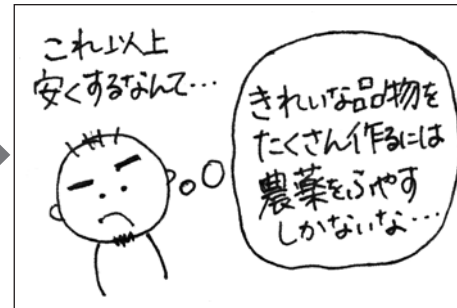
●一般市場に置き換えて考えてみよう。



安い野菜が人気！？



それを知ったお店の人は農家の人達に更に安い野菜を求めます。



農家の人達は、生産性をあげるため、農薬を使わなければいけません。



市場には、安いけれど農薬たっぷりの野菜が溢れました。



消費者が価格が安い理由を考えると...



高くても安心・安全な野菜を選択する人も増えていきます。



それを知ったお店の人は、高くても安心・安全な野菜を仕入れ始めます。



農家の人も安心・安全を心がけるようになり、市場にも安心・安全な野菜が増えました。

①と②、あなたはどちらを選択しますか？「安心・安全を考えて、農薬を使っていない商品を買う」、「児童労働を減らしたいから、フェアトレード商品を買う」、この選択は言わば、選挙の一票のようなもの。お買い物一つでも、私達一人一人が世界（社会）の一員として意志を持って選び、行動すれば世界は変えられるのです。普段の何気ないお買い物も世界と繋がっています。ぜひ、あなたの大切な一票を投じてみてください。

「フェアトレード商品を選ぶ」＝消費者の一票

適正な価格で取引されたフェアトレード商品を購入することで、その利益が生産者の生活の支えになります。しかしながら、消費者がフェアトレード商品を選択することで変わるのは生産者の生活だけではありません。実は、その行動が世界の流れを変える可能性もあるのです。

セカンドハンドのフェアトレード

セカンドハンドのフェアトレード商品の80%は、社会的弱者である女性の自立支援をするカンボジアの現地NGOラチャナ・ハンディクラフトの品です。カンボジア伝統のクメールシルクやコットンで作られています。セカンドハンドは、ラチャナ設立以来、足踏みミシンを香川県内で集めて送ったり、産業がなく貧しい地域に縫製の職業訓練所を建設しました。協力し合いながら、指導者の育成から運営サポート、生産された製品の販売に至るまでの支援事業を行ってきました。



結婚式やお祝い返しにぴったりのギフトとしてご利用される方も! ラッピング、特別な商品のご注文等、ご相談ください!

生産者の声



ラチャナで働くシナさん

以前は、一日中カンディーを包んで50円程度にもならない仕事をしていました。しかし、ミシンの使い方を学ぶことで、縫製の技術が身につくことができました。もし、セカンドハンドに出会っていなければ、私の人生は暗く大変なものだったでしょう。技術を身に付けることができ、今はとても幸せです。

📖 設立者新田さんのこぼれ話

セカンドハンド設立当初から第3世界グッズとして現ラチャナの商品を販売していました。が、「絶対に売れんやろ...」と心の中で思っていたとのこと。なぜなら、縫い目はガタガタ、色合わせが日本人の感覚からかけ離れ、挙句の果てには中に手が入らないポーチもあった。そんな商品でも、心優しいお客さん達が「カンボジアの女性たちの支援になる」と買ってくれたそうです。

「これでは長続きしない。欲しいと思える商品」と厳しいアドバイスと来日研修の機会をつくり、ラチャナと共に縫製の技術を高め、日本で売れる色、デザイン、機能を備えた商品開発をしてきた結果が、今のセカンドハンドのフェアトレード商品です! ぜひ一度手に取って、その成果を確認してください! また、こんな商品があったら良いなどのアイデアがあればぜひお寄せください!

★クラフト品の他にも...

ラチャナ・ハンディクラフトでは、香川県内の保育園の制服を受注生産しています。→過去カンボジアを訪問した経験を持つ経営者が、何かの形で支援をしたいと考え、ラチャナの縫製技術を見込んで制服を発注してくれています。

ここで買えます! —————

- セカンドハンド各店舗
(高松店・片原町店・丸亀店・福岡店)
- 協力販売店、オンラインショップ、イベントでの販売協力についてはセカンドハンドのウェブサイトを確認いただけます!
→<http://2nd-hand.main.jp/>

募集中! —————

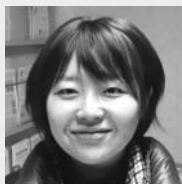
フェアトレード商品を置いてくださるお店や協力者を募集しています!
レジの横、受付、店の片隅に置いて販売協力してくれませんか?
(YES→事務局まで!)

チャリティーカルチャー教室 アイデア募集中!

今年度は、はぎれでコースター作り、ゆかたの着付け教室、茶道教室、英語教室等、様々なチャリティーカルチャー教室を予定しています! まだまだ「こんなカルチャー教室をして欲しい」「私(あの人)にはこんな特技があるよ」など、あなたの声を募集しています! 様々な方が気軽に参加できて寄付につながるカルチャー教室と一緒に企画しませんか?

職員紹介

新たに事務局職員が
2人加わりました!



川内 衣梨絵
(かわうち いりえ)

「セカンドハンド」は、名前の由来の1つでもある、「第2の手、余力で誰かのために」という意味ですが、私は自分の人生の核となる「仕事」として国際協力をしていきたい、全力で関わりたいという思いから、セカンドハンドで働くことを決めました。

事務局での業務は多岐にわたりますが、ひと言でいうと、私はみなさんとカンボジアをつなぐパイプ役だと思っています。全く繋がりのない活動など何一つありません。みなさんの想いの一つ一つをきちんと結果に残し、報告できるよう、尽力していきたいと思っています。よろしくお願いします。



稗田 昭彦
(ひえだ あきひこ)

学生時代より国際協力に関心があり、前職のIT企業の法人営業時代に培った経験・スキルを活かして、社会貢献の出来る仕事をしたいと考えていました。セカンドハンドを選んだ理由は、「ひとりひとりの力は小さくても集まれば大きな力になる」という強い

メッセージに大変共感したからです。私自身もセカンドハンドのミッションを実現するために、更なる資金の獲得のお役に立ちたいと考えています。

また、教育企画担当時代に培った人材育成の経験・スキルを活かして、一人でも多くの学生が世界に目を向け、国際協力に関心を持ち、一歩進んで行動を起こす支援をしたいと思っています。



事務局職員が
1人
復帰しました!

2013年12月に無事に娘を出産し、1年間の産前産後・育児休暇を経て昨年の12月にパートタイムで、さらにこの4月からフルタイムで復帰しました。セカンドハンドでは初めて職員が妊娠し産前産後・育児休暇を取るということで、前例のない中、関係者の皆様方には柔軟な、また親身な

対応を頂きました。復帰するまでは、子育てをしながら事務局職員として働くなんて無理なんじゃないか…と不安に思うことは何度ありました。しかし、復帰をしてから現在に至るまでその思いとは裏腹に、復帰前より、より一層充実しているように感じています。子育てと仕事との両立を叶えさせてくれている同僚の理解や助け、ボランティアの皆さんの温かい言葉や励ましには、日々感謝しています。支えられている分以上をお返しできるよう、職員としても更に成長していきたいと思っています。 河野 奈月(かわの なつき)

ブログ再開しています!

イベント情報やセカンドハンドの日々の活動など、事務局職員が定期的に発信していきます。是非ご覧下さい。

<https://koekihojinsecondhand.wordpress.com/>



～企業協力のご紹介～ 損保ジャパン日本興亜株式会社様

会社内で集めた品物を高松店までご持参いただくなどの協力をしていただいています。また先日は、会社内で集めたプラタプを換金しご寄付していただきました! いつもありがとうございます。

※2014年11月より商品提供やご寄付いただいた方のお名前はSpecial Thanksとしてウェブサイトに掲載させていただいておりますのでぜひご覧ください。



各地でひろがるセカンドハンドの輪



セカンドハンド丸亀店

3月から始まったパワーシティ丸亀の改装に伴い、店舗スペースを移動します。2階部分の改装は6月頃の予定で、2階にあるセカンドハンド丸亀店は、パワーシティ内でのスペース移動を検討しています。詳細は決まり次第ウェブサイト等でお知らせいたします！

丸亀市内で店舗やイベントスペースがあれば、探しています。

セカンドハンド・ユース

●第7回国際協カステージ開催しました！

2014年11月29日、高松国分寺ホールで国際協カステージを行いました。今回も口笛、日本舞踊、アカペラ、マジック、阿波踊りなど素敵な出演者に彩られたステージになりました。収益は65,859円でした。この収益でカンボジアの奨学生を支援します。ご出演などで協力いただきました皆様、ありがとうございました。

●ユースメンバー大募集中！

一緒に活動できる学生を大募集。私たちと一緒にバザーやイベント、勉強会をしませんか？少しでも興味があればぜひご連絡を！

secondhand_youth@yahoo.co.jp

セカンドハンド片原町店

5月は様々なイベントを行います！皆さん、ぜひお越しください！

●5月1日（金）～15日（金）

「和」フェア～Japanese Souvenir Fair～

●5月20日（水）～30日（土）

手芸フェア

●5月24日（日）

チャリティーカルチャー教室

「はぎれdeコースター作り」

初心者でも簡単にできるオリジナルのコースターと一緒に作りませんか？

時 間：10時～15時 ※出入り自由

参加費：500円

準備物：はぎれ、糸、針

※はぎれはセカンドハンド片原町店の「手芸フェア」の期間中にぜひご購入ください！

セカンドハンド京都

ご縁があって何回か出店させてもらっている「ワールドミュージックフェスティバル」の「ワールドひなまつり」に出店しました。今回はカンボジアの留学生も出店していて、クメール語が久しぶりに聞けてどこかなつかしい気持ちになりました。あいにくの雨で売上はあまりありませんでしたが、出ることでセカンドハンドの存在を少しでも多くの方に知ってもらえる機会になったかと思います。引き続きメンバー募集中です！



5月30日（土）

わーどUTANOマルシェ2015

@宇多野ユースホステル

セカンドハンド関東

セカンドハンド20周年記念「日本の食材 de カンボジア料理」チャリティー教室@墨田区に講師として創設者の新田さんを招いて開催しました。カンボジア風・鶏肉の生姜炒めに春雨サラダなど4品目に挑戦。日本の食材なのに、ちょっと組み合わせや作り方を変えるだけでみるみる異国情緒溢れる料理が出来上がりました。20年間の活動や最近のカンボジア事情のお話は学びあり、終始楽しく充実した時間でした。笑いが絶えない、美味しいイベントでチャリティーにつながるって、素敵ですよ。

セカンドハンド関東で何か楽しいことをしたいという方、ぜひご連絡ください！



みんなでワイワイ楽しめました！

☒ 寄付キャンペーンで当選者からのメッセージ

「突然ショッピングバッグが届いて驚きました。使わせてもらいます」（高知県 S様）

⇒ご寄付&メッセージありがとうございました。ぜひご活用ください！これからもよろしくお願いします！

Second hand Official Supporter:SOS会員募集

SOS会員はセカンドハンドのファンクラブのようなもの。ファンとして活動を支援してください！お申し込みは同封の申込用紙のご利用もしくは定額自動引き落としもご利用いただけます。お名前、ご住所を事務局までお知らせいただければ、所定の申込用紙を郵送いたします。(セカンドハンドのウェブサイトからもダウンロードできます)

	月々	1年一括
個人	一口 1,000円	一口 12,000円
法人	一口 2,000円	一口 24,000円
学生		3,000円

- ◆皆様への手数料等のご負担はありません。
- ◆会費は寄付金控除の対象となります。
- ◆特典：セカンドハンド通信の無料発送（年4回）
報告書などの無料送付
カンボジア商品の割引購入
主催コンサート時の優待席確保 ほか

商品提供の受付

夏物衣類：7月下旬まで

秋物衣類：7月中旬から9月下旬まで

※季節を問わない物に関しては常時受付可

【持込先】セカンドハンド高松店

【送り先】これまでセシルさんに倉庫での荷物受取りをご協力いただいていたが、今後はご都合によりご協力いただけなくなったため、当面は下記宛に送付お願い致します。受取り場所などが決まれば、お知らせします。

	郵便番号	宛 先	宛 名	電 話
ゆうパック	760-8799	香川県高松市 高松中央郵便局留 高松市観光通1-1-18	公益社団法人 セカンドハンド	087-861-9928
クロネコヤマト	760-0051	香川県高松市田町12-7 ダブルス和田1階 高松田町センター止め		

20周年事業

寄付キャンペーン《今回が最終抽選!!》

5月末までのご寄付の中で、3,000円以上の記名寄付者を対象に、抽選でカンボジアのクラフト品や商品券などをプレゼントしています。
※7ページ下に当選者からのメッセージ紹介！

セカンドハンド イベント&ボランティア情報

日 程	内 容	場 所
4月～7月 毎週金曜日	10時半～12時 香川大学 国際協力論(セカンドハンドが実施)	香川大学
5月 3日(日)・4日(月)	丸亀お城まつり ※4/30テント設置、5/5撤収	丸亀城内
5月17日(日)	セカンドハンド総会 時間:13時半～14時45分 会費:無料 カンボジア医師による報告会 時間:15時～16時半 会費:無料	高松市生涯学習センター「まなびCAN」
5月17日(日)	カンボジア医師の歓送会 時間:17時半～19時半 会費:2,500円	ぴかでり屋(高松市福田町9-5)
5月23日(土)	フェアトレードまつりinかがわ	片原町けやき通り市場
5月28日(木)・29日(金)	カンボジア救急医療支援についての展示	高松市役所1F市民ホール
6月20日(土)・21日(日)	セカンドハンド通信81号発送作業	セカンドハンド本部

月々の会計報告書はセカンドハンド店頭に掲示しています。

本部・高松店

■セカンドハンド本部(3F)
■高松店(1F)
〒760-0055
高松市観光通1-1-18
TEL:087-861-9928
営業時間:
月～金 10時～16時
土 11時～15時
日・祝日は定休日

片原町店

〒760-0040
高松市片原町9-1
TEL:087-822-3552
営業時間:
月～金 10時～18時
土・日・祝日 10時～17時

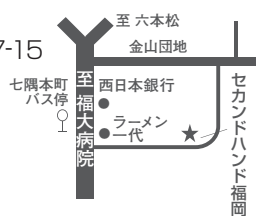
丸亀店

〒763-0063
丸亀市新浜町1-803-2
マルナカパワースティ丸亀店内
TEL:0877-25-2876
営業時間:
全日 9時30分～19時

セカンドハンドのネットワーク

■セカンドハンド福岡

〒814-0131
福岡市城南区松山2-7-15
TEL&FAX:
092-871-5760
営業時間:
月 11:00～15:00



■セカンドハンド大阪

徳
(E-mail) tokuyo@d1.dion.ne.jp

■セカンドハンド北海道

福田 TEL&FAX:014-473-8254
(Email) akihiro.f77@gmail.com
ブログ: <http://2handhokkaido.jugem.jp/>

■セカンドハンド関東

早船
(Email) 2hand.kanntou@gmail.com

■セカンドハンド京都

菅谷
(Email) nsugaya0203@yahoo.co.jp

お店番、仕分け作業、事務、イベント運営、チャリティーショップやセカンドハンドの運営を支援してください。ボランティア募集！

☆このセカンドハンド通信は3か月に一度発行しています。封筒作り、発送作業等をボランティアで行い、年4回会員(SOS会員や商品提供者等)に、その内2回を全国の支援者へ無料で発送しています。購読希望の方は、ハガキ、FAX、メールなどでお申し込みください。